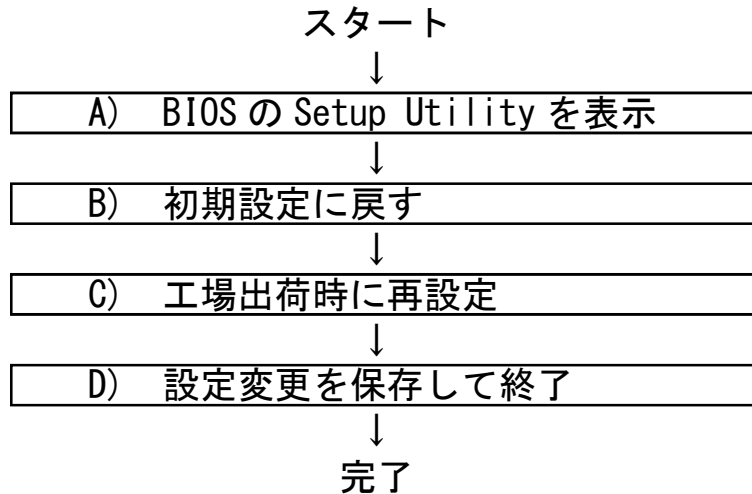


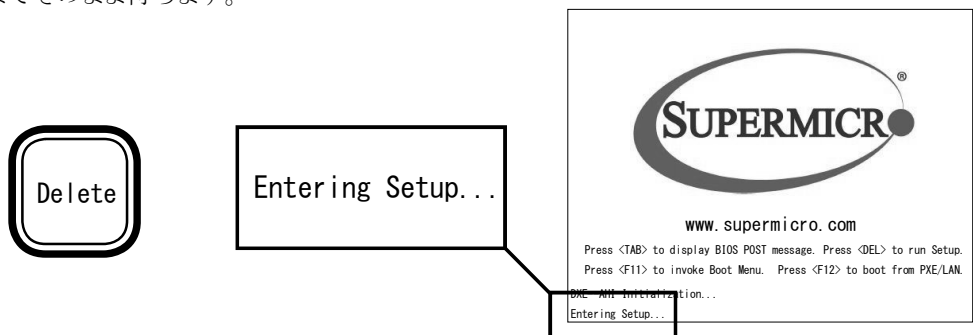
BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、本製品の電源投入直後にキーボードの [Delete] キーを押してください。Windows を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



A) BIOS の Setup Utility を表示します。

電源投入直後、または再起動直後に [Delete] キーを押します。[Delete] キーにより、画面左下に「Entering Setup...」と表示されます。BIOS 設定画面（Aptio Setup Utility）が表示されるまでそのまま待ちます。



ご注意

押すタイミングによっては Setup Utility が表示されない場合があります。その場合はいったん本製品をリセットして Setup Utility の表示を試みてください。Windows が起動した場合は Windows を再起動し、Setup Utility 表示を試みてください。

BIOS 設定のメイン画面（「Main」タブ）が表示されます。以降いくつかの項目を設定します。キーボードを使い設定します。

Main Advanced Event Logs Thermal&Fan Security Boot Save&Exit		
System Date		【本日の日付】
System Time		【現在の時刻】
Supermicro X13SAE		
BIOS Version	X.X	※1
Build Date	MM/DD/YYYY	
Memory Information		
Total Memory	XXXX MB	※2



ご注意

BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けない場合があります。これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。USB キーボードを挿し直してください。

B) BIOS 設定を初期設定に戻します。

BIOS 設定画面が表示されましたら [→] キーで「Save & Exit」タブに移動します。

次に [↓] キーで「Load Optimized Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Load Optimized Defaults?」と表示されますので「Yes」を選択後 [Enter] キーを押します。BIOS 設定が初期設定に戻ります。初期設定後、手動による設定が必要です。

Load Optimized Defaults	
Load Optimized Defaults?	
Yes	No

C) 工場出荷時に再設定します。

各項目を手動設定します。本書は手動設定が必要な項目のみを記載しています。

本文中 ▶ 印の部分は [Enter] キーを押すことにより、詳細項目が表示されることを表しています。また反転文字が設定項目です。

【操作方法】

- ・ [←] [→] [↑] [↓] キーで項目移動。
- ・ 日付や時間設定は、[Tab] キーで年月日や時分秒の各項を移動。
数字キーで直接入力も可能。[+] [-] キーで増減変更。
- ・ 設定変更項目へ移動後、[Enter] キーを押すと選択メニューが表示。
[↑] [↓] キーで選択後 [Enter] キーで確定。
- ・ [Esc] キーを押すと一つ前の選択メニューが表示。
大項目で [Esc] キーを押すと、セーブメッセージを表示。

【Main】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
System Date						【 本日の日付 】
System Time						【 現在の時刻 】
Supermicro X13SAE						
BIOS Version			X. X			※ 1
Build Date			MM/DD/YYYY			
Memory Information						
Total Memory			XXXX MB			※ 2

※ 1: BIOS のバージョンにより表記が異なる場合があります。

※ 2: カスタム仕様により、Total Memory 値が異なります。



ご注意

カスタム仕様により、以降のページにおいて表示されない項目があったり、記載のない項目が追加表示される場合があります。

【Advanced > Boot Features】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
Fast Boot					[Disabled]	
Quiet Boot					[Enabled]	
Bootup NumLock State					[On]	
Wait For "F1" If Error					[Enabled]	
Re-try Boot					[Disabled]	
Power Configuration						
Watch Dog Function					[Disabled]	
Restore on AC Power Loss					[Last State]	※ 3
Power Button Function					[Instant Off]	
DeepSx Power Policies					[Disabled]	

※ 3: 電源投入方法の設定

- [Stay Off] 前面の電源スイッチで電源投入します。
- [Power On] 背面の電源スイッチ、あるいは背面の電源スイッチがオンの状態で AC ブレーカなどで電源投入することができます。
- [Last State] Stay Off と Power On のどちらの状態も有しており、電源切断方法に応じて、次の電源投入方法が決まります。



ご注意

- ・電源投入方法の設定を変更しても即座に反映されません。設定変更後は必ず正しいシャットダウンを行ってください。以降、設定した電源投入方法が機能します。
- ・カスタム仕様により、AC Loss Policy Depend On と表示される場合があります。

【Advanced > CPU Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
CPU Configuration						
12th Gen Intel(R) Core(TM) i7-12700						} ※ 4
.						
.						
Active Performance-cores						[All]
Active Efficient-cores						[All]
Hyper-Threading						[Enabled]
Boot Performance Mode						[Max Non-Turbo Performance]
Intel(R) SpeedStep(tm)						[Enabled]
Intel(R) Speed Shift Technology						[Enabled]
Turbo Mode						[Enabled]
Power Limit 1 Override						[Disabled]
Power Limit 2 Override						[Enabled]
Power Limit 2						0
C-States						[Disabled]
MonitorMWait						[Enabled]

※ 4: カスタム仕様により表示が異なります。



ご注意

- ・インテル第12世代プロセッサファミリーには、Performance CoreとEfficient Coreを合わせ持つCPUがあります。一部のアプリケーションは、Efficient Core (Eコア)があることで正しく動作しない場合があります。このようなアプリケーションは「Active Efficient-cores」項を[0]に（Eコアを無効化）することで回避できる場合があります。
- ・CPU機能の制限により、表示されない項目があったり、ここに記載のない項目が追加表示される場合があります。

【Advanced > Chipset Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
WARNING: Setting wrong values in below sections may cause system to malfunction.						
▶ System Agent (SA) Configuration						
System Agent (SA) Configuration						
VT-d		Supported				
▶ Memory Configuration						
▶ Graphics Configuration						
▶ DMI/OPI Configuration						
▶ PEG Port Configuration						※ 5
▶ GT - Power Management Control						
VT-d		[Enabled]				
GNA Device (B0:D8:F0)		[Enabled]				
▶ PCH-IO Configuration						
PCH-IO Configuration						
PCH SKU		W680				
Stepping		xx				
▶ PCI Express Configuration						※ 6
Frontside Audio Mode		[HD Audio]				

※ 5: PCI Express 5.0 x16 及び PCI Express 5.0 x8 スロットの設定

※ 6: PCI Express 3.0 x4 スロットの設定

PCI Express スロットへ接続した拡張ボードとの、整合性や調整を行うことができる主な項目です。拡張ボードが動作異常を繰り返すようでしたら、拡張

ボードに合わせて設定ください。例えば「Max Link Speed」項や「PCIe Speed」項は、拡張ボードに合わせた1レーン当たりの最大転送レートを設定する項目です。

- [Auto] 以下の転送レートから自動設定します。
- [Gen5] 32.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen4] 16.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen3] 8.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen2] 5.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen1] 2.5GT/s を上限に設定します。

【Advanced > PCIe/PCI/PnP Configuration】メニューにも整合性や調整を行う項目があります。

【Advanced > SATA And RST Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
SATA Controller(s)						[Enabled]
Storage Option ROM/UEFI Driver						[EFI]
Support Aggressive Link Power Management						[Enabled]
SATA0						HDD/SSD Model Name (XXXX, XGB)
Software Preserve						SUPPORTED
Hot Plug						[Enabled]
Spin Up Device						[Disabled]
SATA Device Type						[Hard Disk Drive] ※ 7
SATA1						DVD Model Name
Software Preserve						N/A
Hot Plug						[Enabled]
Spin Up Device						[Disabled]
SATA Device Type						[Hard Disk Drive]
.						
.						
.						
SATA7						Empty ※ 8
Software Preserve						Unkown
Hot Plug						[Enabled]
Spin Up Device						[Disabled]
SATA Device Type						[Hard Disk Drive]

※ 7: SSD をお使いの場合は [Solid State Drive] に設定します。以降 SATA7 まで、カスタム仕様に合わせて設定します。

※ 8: SATA ドライブが接続されていない場合は [Empty] と表示されます。



ご注意

(M.2 SSD RAID を除く) 「M.2 SSD」は SATA ポートに接続していないため、【SATA And RST Configuration】メニューには表示されません。

【Advanced > USB Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
USB Configuration						
USB Module Version		xx				
USB Controllers:						
1 XHCI						
USB Devices:						
1 Keyboard, 1 Mouse						
XHCI Hand-off		[Enabled]				
USB Mass Storage Driver Support		[Enabled]				
USB S5 Wakeup Support		[Enabled]			※9	

- ※9: Windows をシャットダウンした状態から、USB 2.0 ポートに接続した USB キーボードや USB マウスの操作で本製品の電源を ON (入) する機能について、有効化 / 無効化を設定可能です。

【Advanced > Chipset Configuration

> System Agent (SA) Configuration > PEG Port Configuration】メニュー

PCI-E M.2-M3 スロットに M.2 SSD を装着している場合、
「PCI-E M.2-M3」項に接続状態が表示されます。

接続時の表示例 : x4 Gen3

接続していない場合 : Not Present

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
PEG Port Configuration						
PCI-E M. 2-M3						
x4 Gen3						
Enable Root Port [Enabled]						
Max Link Speed [Auto]						
ASPM [L1]						
L1 substates [L1.1 & L1.2]						
CPU SLOT7 PCI-E 5.0 x16						
Not Present						
Enable Root Port [Enabled]						
Max Link Speed [Auto]						
CPU SLOT4 PCI-E 5.0 x8 (IN x16)						
Not Present						
Enable Root Port [Enabled]						
Max Link Speed [Auto]						

【Boot】メニューの設定

Main	Advanced	Event Logs	Thermal&Fan	Security	Boot	Save&Exit
Fixed Boot Order Priorities						
Boot Option #1					[UEFI CD/DVD]	※ 10
Boot Option #2					[UEFI Hard Disk:Windows Boot Manager]	
Boot Option #3					[UEFI USB Key]	
Boot Option #4					[XXXX]	
.						
.						
.						
Boot Option #9					[XXXX]	
▶ Add New Boot Option						
▶ Delete Boot Option						
▶ UEFI Hard Disk Drive BBS Priorities						
						※ 11
▶ UEFI USB Key Drive BBS Priorities						
▶ UEFI NETWORK Drive BBS Priorities						
▶ UEFI Application Boot Priorities						

※ 10: 起動ドライブの優先順位を設定します。

※ 11: ※ 10 の選択肢に「UEFI Hard Disk: Windows Boot Manager」が表示されない場合には、本項目を設定してから※ 10 を設定してください。
本項目を選択し、「Windows Boot Manager」を選択します。



ご注意

- USB 接続の外付け CD/DVD ドライブの場合は表示名の行頭に「USB」が、UEFI 対応 DISC がセットされている状態であれば行頭に「UEFI USB」が、付記されます。内蔵の光学ドライブの代わりにご使用いただけます。
- カスタム仕様により、設定（優先順位）が異なります。

D) 設定変更を保存して終了します。

設定終了後、再び「Save & Exit」タブを選択します。

「Save Changes And Reset」を選択し、[Enter]キーを押します。

「Save configuration and reset?」と表示されますので「Yes」を選択して[Enter]キーを押します。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
<input checked="" type="radio"/> Yes	<input type="radio"/> No

設定内容が保存され再起動します。



ご注意

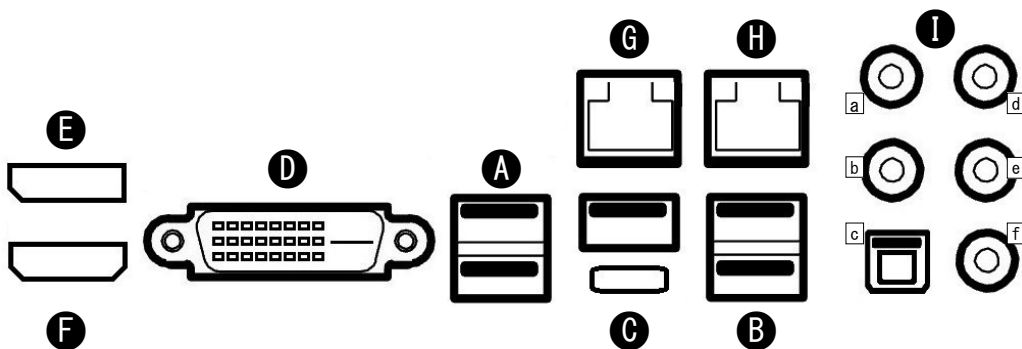
「Discard Changes and Exit」や「Discard Changes」を選択実行すると、設定内容が保存されません。

* Windows^(R) は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での登録商標です。

ユーザーズマニュアル補足

S65 シリーズ

1. 製品背面側のコネクタ

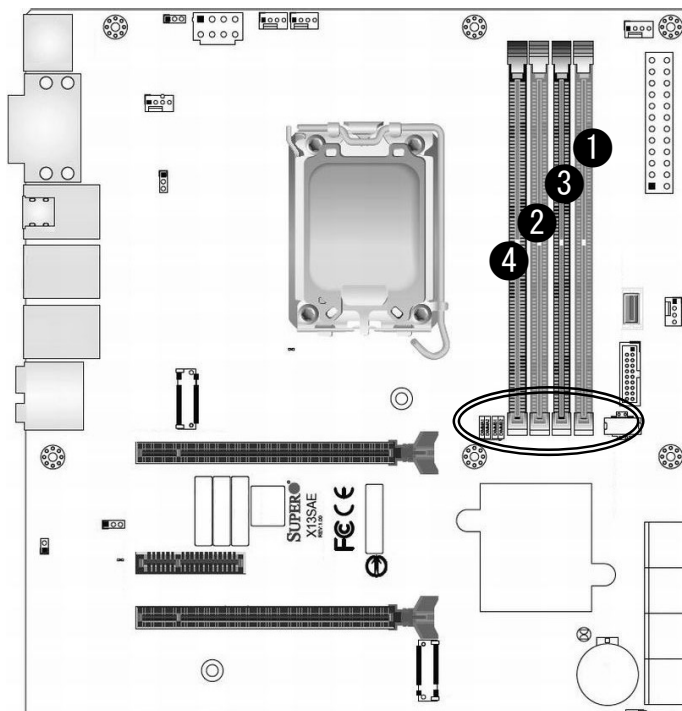


- A: USB2.0 (Type-A) 2ポート
USB 2.0 を上限に、USB 機器を接続できます。
- B: USB 10Gbps (USB3.2 Gen2) Type-A 3ポート
USB 10Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。
- C: USB 20Gbps (USB3.2 Gen2x2) Type-C 1ポート
USB 20Gbps を上限に、USB 機器を接続できます。 *1
- D: DVI-D ポート DVI-D モニターを接続できます。 *2
- E: Displayport (1.4b) Displayport モニターを接続できます。 *2
- F: HDMI (2.1) ポート HDMI モニターを接続できます。 *2
- G: LAN (10/100/1000 Mbit/sec) 1ポート Intel(R) I219-LM
- H: LAN (10/100/1000/2500 Mbit/sec) 1ポート Intel(R) I225-V
- I: オーディオ機器を接続できます。
- a : Center/LFE Out
 - b : Surround Out
 - c : SPDIF Out
 - d : Line In
 - e : Line Out
 - f : Mic In

*1: USB PD (USB パワーデリバリー)、Alternate Mode (オルタナティブモード) には対応しません。

*2: 同時使用は上限 3 ポートまで可能です。

2. メモリーモジュールの増設



■メモリーモジュールの取り付け方法

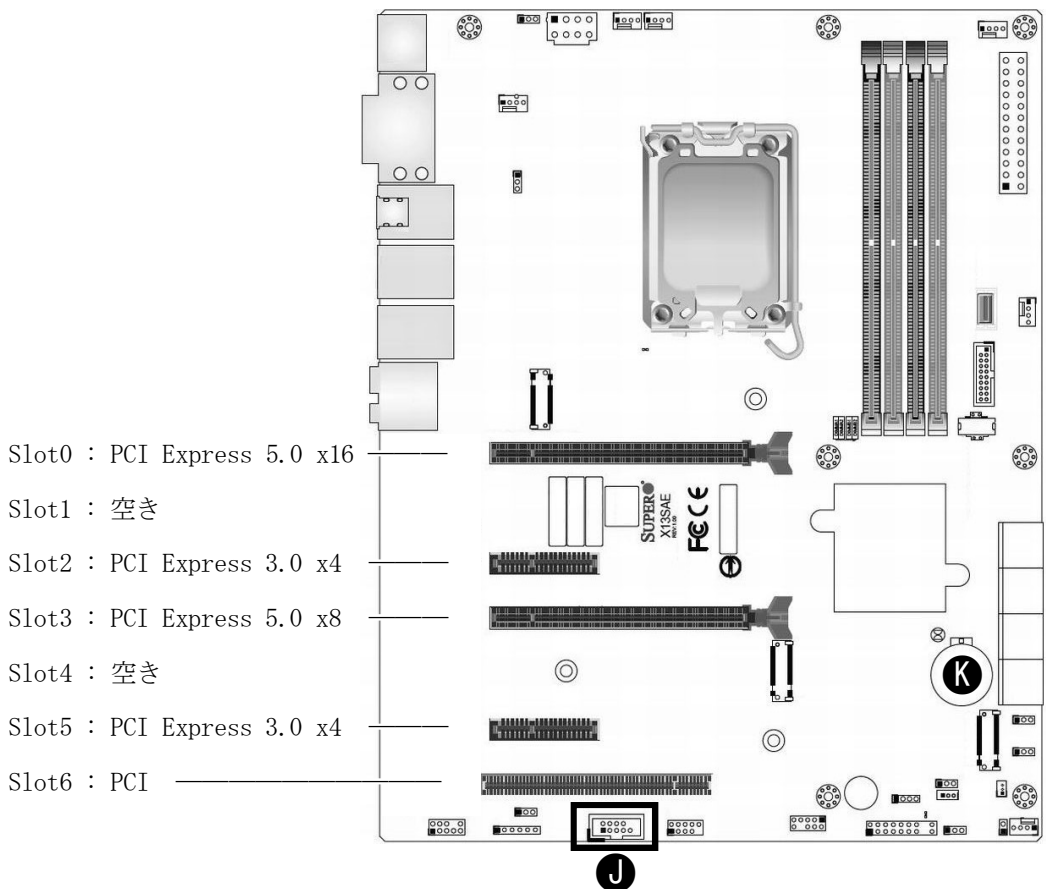
- 1) 1ヶだけの場合は①に装着します。
- 2) 2ヶ同容量の場合は①と②に装着します。
- 3) 4ヶの場合
 - 3-1) すべて同容量の場合はそのまま①～④へ装着します。
 - 3-2) 容量が一組(2ヶ)ごと異なる場合は、①と②に同容量一組(2ヶ)を③と④に同容量一組(2ヶ)を装着します。
 - 3-3) 容量が異なる場合は、「①、②、③、④」の順に、容量の多いメモリーモジュールを装着します。



ご注意

- ・メモリーモジュールには取り付け向きがあります。スロットの切り欠きに合わせて取り付けます。
- ・メモリースロットの片側のレバー (PCI Express スロットに近い側 ○部) は固定されています。
- ・より良い性能を発揮するために、2ヶ単位での装着 (Dual Channel) を推奨します。

3. 内部のシリアル COM ポートコネクタと 拡張スロット



J : Serial port (COM1)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。
カスタム仕様によっては使用済みです。

K : 電池ホルダー リチウム電池が装着済みです。

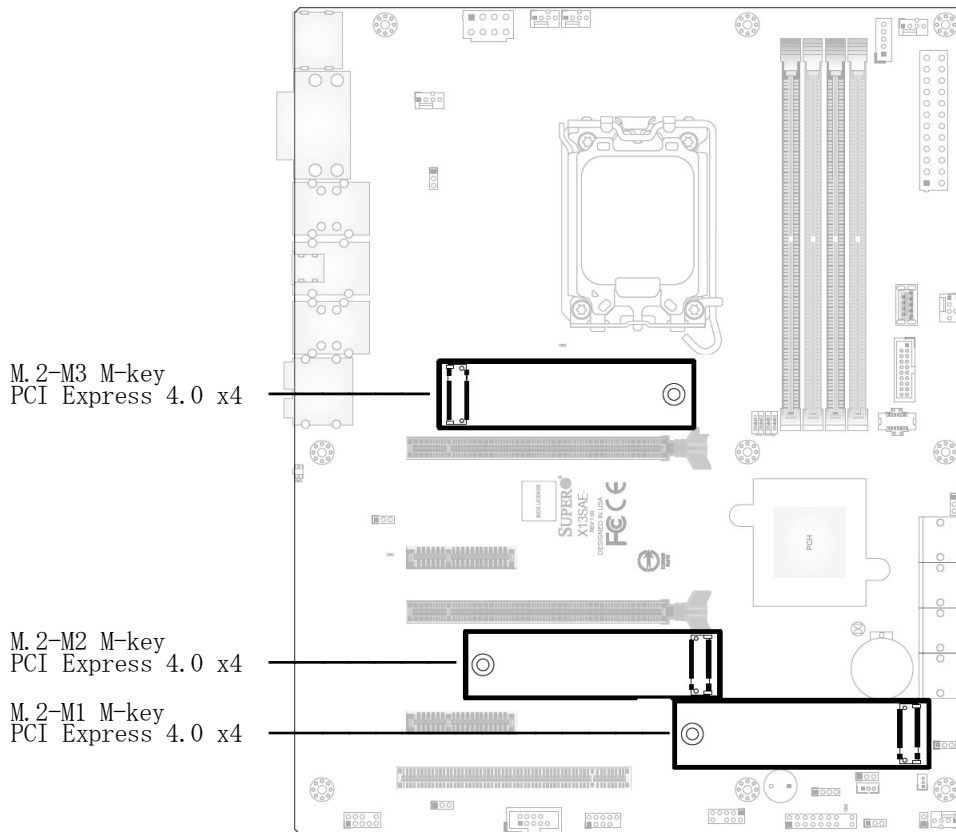
コイン型やボタン型と称されることもある一次電池です。リチウムイオン電池 (二次電池) ではないため、充電することはできません。



ご注意

- PCI Express 5.0 x16 と x8 の 2 スロットには合計 16 レーンの制限があります。
(x16/NA または x8/x8 のどちらかです。 NA: お使いいただけません)
- 外部シリアル (COM) ポートケーブル (オプション) 搭載時には拡張スロットを使用します。使用スロット番号 (場所) は、カスタム仕様により異なります。

4. 内部の M.2 スロット



ご注意

- M.2 M-key PCI Express 4.0 x4 スロットは、M.2 PCIe(NVMe) 対応 SSD のみ使用できます。搭載可能サイズは 2280 です。
- (M.2 SSD RAID を除く) M.2 SSD ヘリカバリーする場合は光学ドライブを除く、全ての SATA 接続機器を外してください。

安全にお使いいただくために

1) メモリーモジュールの転送速度

1-1) 搭載 CPU や装着しているメモリーモジュールの構成によって、データ転送速度が変わる場合があります。

1-2) 本製品は、上位または下位のデータ転送速度に対応したメモリーモジュールを装着することができます。

DDR5-4800/4400 SDRAM DIMM (Unbuffered / Non-ECC / Non-registered)

2) LAN ポート

2-1) LAN ポートの順番

Windows の場合、2 つの LAN ポートが「イーサネット」、「イーサネット 2」のように表示されます。カスタム仕様により、LAN ポートの表示名が変わる場合があります。



2-2) Wake on LAN

Wake on LAN 機能を使用する場合、BIOS 設定は不要です。Windows にプリインストールされている「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」(管理者権限で実行) で Wake on LAN を有効に設定します。加えて、Windows のシステム設定で高速スタートアップを無効に設定します。設定後、Windows を正しくシャットダウンすることで準備が整います。設定後に主電源 (AC 電源) を切断した場合は、Wake on LAN の機能が解除されます。解除後であっても、Windows を正しくシャットダウンすることで、再び準備が整います。

「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」において、該当する LAN ポートが表示されなかったり、サポート外と表示される場合には、Wake on LAN 機能をご利用いただくことができません。これは「Intel PROSet Adapter Configuration Utility」の仕様であり、本製品の使用上の制限です。

MEMO: